

「親鸞聖人を知る・本願寺を知る」

第18回 本願寺史料研究所公開講座

日時：2025(令和7)年1月12日
場所：西本願寺聞法会館 多目的ホール
京都市下京区堀川通花屋町上ル（西本願寺北側）



実如宗主影像（本願寺所蔵）

聴講無料 定員 180名

要予約（※先着順）

【第1部】

12時30分～13時35分

実如宗主500回忌記念

「実如宗主の生涯と事績」

岡村 喜史（本願寺史料研究所上級研究員）

（約60分）



実如宗主裏書阿弥陀如来絵像
（大和郡山市光慶寺所蔵）

【第2部】

15時30分～16時30分

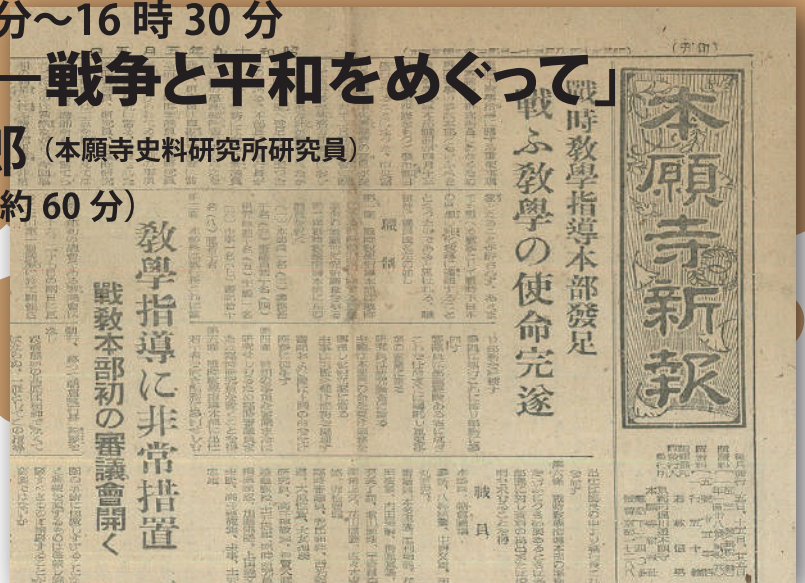
「戦後80年と本願寺—戦争と平和をめぐって—」

近藤 俊太郎（本願寺史料研究所研究員）

（約60分）



「終戦五十周年全戦没者総追悼法要」
（『本願寺新報』平成7年5月1日）



「戦時教学指導本部発足」
（『本願寺新報』昭和19年5月5日）

問い合わせ

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派宗務所内
所務部〈文書担当〉本願寺史料研究所公開講座係
TEL：075-371-5181(代) FAX：075-351-1372
E-mail：shiryoken18@hongwanji.or.jp

申し込みフォーム▶



主催 本願寺史料研究所

「親鸞聖人を知る・本願寺を知る」

第18回 本願寺史料研究所公開講座

公開講座概要

実如宗主 500 回忌記念

第1部「実如宗主の生涯と事績」

岡村 喜史（本願寺史料研究所上級研究員）

実如宗主は、本願寺を全国的教団へと発展させた第8代蓮如宗主の後を受けて、阿弥陀如来絵像を授与するなどして門徒の組織化を進め、確実に浄土真宗の教えを各地に定着させていきました。500回忌を記念し、実如宗主が果たした役割について、具体的な事例をあげて紹介していきます。

第2部「戦後 80 年と本願寺 — 戦争と平和をめぐって」

近藤 俊太郎（本願寺史料研究所研究員）

2025年に日本は戦後80年を迎えます。戦前の本願寺には日本の国策としての対外戦争に積極的な貢献をおこなった歴史があります。戦後、本願寺はそうした戦前の歴史を反省し、平和を願う取り組みを進めてきました。本講座では、戦後の本願寺が戦争責任とどのように向き合い、平和を願う取り組みを進めてきたのかについて考えます。

申し込み FAX 075-351-1372

浄土真宗本願寺派 所務部〈文書担当〉本願寺史料研究所公開講座係行

お名前 (代表の方)	フリガナ
参加人数	第1部 名様
	第2部 名様
ご連絡先	電話番号もしくはメールアドレス ※定員超過の場合等のご連絡先